

高速道路建設促進に関する要望書

全国高速自動車道市議会協議会は、平成21年度高速道路建設促進に関する要望書を議決いたしましたので、政府並びに国会におかれましては、特段のご配慮を賜りますよう強く要望いたします。

平成20年11月

全国高速自動車道市議会協議会

会 長 三 浦 由 紀

(大分市議会議長)

要 望

高速自動車国道を核とする高規格幹線道路網14,000kmは、地域の経済活動をはじめ、地域活性化や地域間の格差是正、さらには災害時の緊急輸送、救急医療の充実に資するものであり、最優先に取り組むべき重要な社会基盤である。

現在、高速自動車国道の供用率は依然6割に過ぎず、連続したネットワークが形成されていないのが現状である。

このような中、政府は先月30日、平成21年度からの道路特定財源の一般財源化に際し、1兆円を地方の実情に応じて使用する新たな仕組みを作るとの追加経済対策を発表しているが、道路財源の扱いについては必ずしも明確化されておらず、今後、高速道路建設が更に遅れることが懸念される。

高速道路はネットワーク化が図られてこそ、その効果を最大限に発揮するものである。既存の高速道路の有効活用を促すためにも、高速道路ネットワークの早期整備を図るとともに、未整備区間を抱える地域の幹線道路の整備を急ぐことが重要である。

よって、高速道路ネットワークの早期完成及び有効活用が図られるよう、次の事項の実現を強く要望する。

1. 高速道路の建設促進について

- (1) 高速自動車国道の整備計画区間 9,342km については、有料道路方式と新直轄方式の有効活用により早期完成を図るとともに、高規格幹線道路 14,000km のネットワークを早期に実現すること。
- (2) 高速道路と一体となって高速交通体系を成す幹線道路及び地域高規格道路の整備を推進すること。
- (3) 高速道路の建設を含めた道路整備の在り方の具体化に当たっては、整備を求める地方の実情・財源等を十分に把握し、真に必要な道路を盛り込むこと。

2. 道路整備財源の確保について

高速自動車国道をはじめとした高規格幹線道路の整備を推進するため、道路整備費や維持管理費に支障が生じないよう所要の財源を確保すること。

3. 高速道路の利便性向上について

- (1) 高速道路の利便性向上のため、料金の引下げを恒久化するとともに、スマートインターチェンジの整備を積極的に推進すること。

(2) 高速道路利用による地域の救急救命活動の支援を図るため、救急車退出路の整備を推進するとともに、高速自動車国道における救急業務に対する支弁金について、制度の改善を図ること。

4. 交通渋滞・防災・安全対策等の推進

(1) ETC（電子式料金自動収受システム）の更なる普及促進を図るなど最先端の情報通信技術を用いたITS（高度道路交通システム）を推進すること。

(2) 集中豪雨、地震等に対する防災に優れた道路構造の開発や道路擁壁の整備など防災対策を推進すること。

(3) 高速道路の事故防止対策として、暫定2車線区間の中央帯レーンマークの改良など交通安全対策に万全の措置を講じること。

(4) 高速道路関連施設のバリアフリー化を推進すること。